

投稿原稿執筆要領

投稿規程に定める投稿原稿の執筆要領を以下に定める。なお、投稿原稿以外（書評など）の場合も、以下に準じるが、講演原稿などは準拠しなくてもよい。

1. 原稿の種類

原稿は次のいずれかとする。

- 1.1 原著論文
- 1.2 研究ノート

2. 使用言語

日本語または英語とする。

3. 原稿の長さ

原則として以下の範囲内とする。なお、文字数には図表・グラフ・写真・参考文献・注釈・参考文献を含む。

- 3.1 原著論文：和文 20,000 字 英文 8,000 語
- 3.2 研究ノート：和文 10,000 字 英文 4,000 語
- 3.3 書評：和文 10,000 字 英文 4,000 語

4. 要旨とキーワード

原著論文には、和文要約（500 字程度）または英文（250 語）を付け、各要約の末尾に 3～5 語のキーワードを明記すること。

5. 原稿の様式

- 5.1 原著論文は、表題（日本語および英語）・要旨・キーワード・本文・注・参考文献、研究ノートは表題・本文・注・参考文献の順で記載のこと。
- 5.2 注は脚注とはせず、本文中に通し番号を付し、本文の末尾にまとめて示すこと。
- 5.3 参考文献は本文中に引用したもののみ記載のこと。
- 5.4 図表・グラフ・写真・動画は、キャプションおよび説明を含め、本文とは別ファイル（Excel、Word など）で提出のこと。また、動画は該当する静止画にリンクを付与のこと。
- 5.5 フォントは UD デジタル教科書体 NK-R（日本語）および、Times New Roman（英語）を使用のこと。
- 5.6 見出し記号は、「1.」「1.1.」の順に記すこと。

●単行本

松岡和美(2015)『日本手話で学ぶ手話言語学の基礎』くろしお出版。

Sandler, Wendy and Diane Lillo-Martin (2006) *Language and linguistic universals*. Cambridge University Press.

●研究発表

矢野羽衣子・松岡和美・平英司(2014)「愛知県大島のビレッジサイン(手話方言)における数と時の表現」日本言語学会第149回大会ポスター発表.2014年11月15日.

●ウェブサイト

市田泰弘「手話文法研究室」<http://slling.net/wp/>(2023年10月12日アクセス).

7.5 本文および注における参考文献は以下の例のように示す。

●鳥越・前川(2017)は…、鳥越・前川(2017)によると…

●鳥越・前川(2017:130)は「……」と述べている。

8. その他

原稿の執筆および投稿に関しては、必ず手話言語研究センターのウェブサイト(kwansei.ac.jp/c_shuwa/)より、最新版の投稿規程および執筆要領を確認のこと。

附則

本要領は2023年11月1日から施行する。